

昨年7月に  
「地域安全みまもり隊」を発足

千畑南小学校では昨年7月22日、同校のPTA 郊外生活指導部を母体とし、地域の老人クラブや交通安全協会 畑屋支部、PTA 会員の祖父、民生児童委員、防犯指導隊員などの協力を得て「地域安全みまもり隊」を結成し、その日の腕章をつけて活動している。発足当時約170人だった隊員はことし1月27日現在で217人に増え、現在も増えているという。



▲「みまもり隊」が結成された7月22日、隊員と子どもたちはお互いに自己紹介をして顔合わせをした。

きっかけは  
地域のお年寄りの一言から

同校で「みまもり隊」結成のきっかけとなったのは、昨年の2月ごろ。1、2年生が地域のお年寄りの協力を得てもちつきをした時に、ある一人のおじいさんが話した一言から始まった。

「教頭先生、『みまもり隊』ここなばできるよ。おれだち協力するよ。」

総合学習の一環として、全校で米づくりに取り組んで6年目となる同校では、田植えから稲刈りまでの作業に毎回30人を超える地域のお年寄りが“先生”として来校し、子どもたちと一緒に活動している。そうしたつながりから、子どもたちと地域のお年寄りとの関わりは非常に深い。「学校のためであれば一肌脱いで一生懸命頑張ってくれるおじいさんとおばあさん方が千畑南小にはたくさんいるんだよ。『みまもり隊』を立ち上げてみないですか教頭先生」と言われ、「たいへんうれしく、そしてありがたいと思いました。が、正直言つてどのようにして進めたらよいか、その時はまったく検討がつかまませんでした」と同校の鈴木恒久教頭は当時を振り返る。

老人クラブを巻き込んだ  
組織づくりが功を奏す

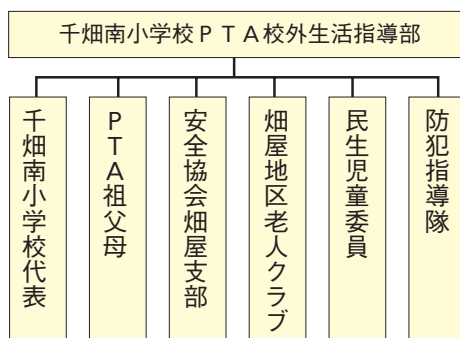
組織づくりにあつたての当初の課題は、誰に会員になつてもらおうかということ。「おじいさんやおばあさん方といつても、当初私の頭の中にあつたのは、本校に在学する子どもたちのおじいさんやおばあさんたちしか頭になく、いくら集まつても30人くらいだなと思つていましたが、『老人クラブにお願いしたらどうだろう』というアドバイスを受けた」ことが大きな転機となった。

その後、町社会福祉協議会の協力を得て8つの組織からなる畑屋地区老人クラブの代表者一人ひとりに内容を説

明して回つたところ、「それはいいことだ」「私たちでできるのであれば喜んで協力させてください」と全員が好意的で、老人クラブのお年寄りだけで150人を超える隊員が集まった。

また、県の「安全・安心まちづくり活動支援助成金」の交付も受けることになり、活動を軌道に乗せた。

「地域安全みまもり隊」の組織図



活動は「下校時の安全確保のためのみまもり」と「笑顔あいさつ週間」

同校の地域安全みまもり隊の活動は下校時の安全確保のためのみまもり活動と、毎月はじめの1週間、登校時間帯に児童とあいさつを交わす「笑顔あいさつ週間」の2つの活動があり、それぞれ上のような計画で活動を進めている。活動にあつては、「当初は班を作り班ごとにローテーションを決めて活動しようかとも考えましたが、そうなるとおじいちゃんおばあちゃんた

学校の  
取り組み

千畑南小学校「地域安全みまもり隊」

地域のお年寄りなど約220人が、子どもの安全を見守ります。



## 千畑南小学校「地域安全みまもり隊」の活動内容

### ①学校から帰る時間(午後2時30分ころ～4時ころ)に子どもたちの様子を見守ったり、声をかけたりする。

- ・毎日でなくてもいい
- ・散歩しながら見守ったり声をかけたりするのもいい
- ・都合のつく日だけでいい
- ・都合のつく時間だけでいい
- ・玄関前で見守ったり声をかけたりするのもいい
- ・農作業や庭仕事をしながら見守ったり、声をかけたりするのもいい



◀ 腕章

### ②「笑顔あいさつ週間」(毎月はじめの一週間)に登校する子どもたちとあいさつを交わす。

- ・玄関前でやるのもいい。
- ・自宅近くの交差点や十字路につくのもいい。
- ・都合のつく日だけでいい。
- ・子どもたちが登校する時間帯に行く。



▲2月21日に「みまもり隊」の隊員を学校に招いて日ごろの活動に感謝する集会を開いた。

ちの生活にかなりの制約が生じてしま  
うのではないかとということ、あくま  
でもボランティア活動として、隊員一  
人ひとりが都合のよい時に取り組ん  
ただければよいということにしてい  
ます」と、無理をしないで、できる範  
囲でやることをスローガンにしてい  
る。

「子は宝 みなで見守る 美郷の  
地」という句を作ってみました。美  
郷町が秋田県で一番安全安心な町とな  
るよう、この後も一緒にがんばってい  
きたいと思います」と鈴木教頭。

こうした千畑南小学校の取り組みは  
町内の全小学校に広がり、ことしの3  
月までにすべての小学校で「地域安全  
みまもり隊」が発足する予定となつて  
いる。

### 保護者の声

「学校が『地域』というものをすごく  
意識していることが本当によく分か  
る。「夢こまち」(全校の米づくり学習)  
や「みまもり隊」の取り組みは高く評価  
できる。みまもり隊活動をはじめ地域  
のおじいさん、おばあさん達には本  
当に熱心に取り組んでいただきありが  
たく感じている。子どもたちの感謝の気  
持ちは伝えることもつとめと地域  
の人達とも密に接することができ  
るのでは」(保護者対象の学校評価より)

### 隊員の声



嶋田 敬勇さん  
(安城寺上)

「地域安全みまもり隊」として活動を  
始めたころは子どもたちも最初は戸  
惑っていた様子で、こちらからあいさ  
つをしないと下を向いて歩いて行つて  
しまうような状態でした。しかし、最  
近では、子どもたちの方からあいさつ  
をしつかりしてくれるようになりま  
した。

これからは子どもたちの安全を守る  
ために長く取り組んでいきたいと思っ  
ていますので、子どもたちには安心し  
て勉強やスポーツに励んでほしいと思  
います。

### 子どもたちの声



○私はいつも友達と一緒に帰ります  
が、途中で1人になります。その時  
に「見まもり隊」の人があいさつをし  
てくれるのでとってもほっとしま  
す。

○毎朝「見まもり隊」のおばあさんたち  
が見ていてくれて、あいさつをする  
といつも返してくれます。とっても  
うれしいです。これからもよろしく  
お願いします。

○雨の日も風の日も、そして寒い日  
も、いつも外に立って私たちにあい  
さつや声をかけてくれて、私たちの  
安全を見まもってくれてありがとう  
ございます。これからも私たちの安  
全を見まもっていてください。よろ  
しくお願いします。

○登下校の時にいつも「見まもり隊」の  
方々が出てきてくれて、登校の時は  
「行ってらっしゃい」、帰りの時は  
「あがってきたが」というように言っ  
てくれるのでとてもうれしいし、遠  
くに行くまで見ていてくれるので  
安心して登下校できています。